

福祉保健 委員会

重点調査項目

- ①子育て支援・子育て環境について
- ②障がい者の就労及び生活支援について
- ③委員会行政視察報告書

①子育て支援・子育て環境について

「高山市子ども条例（仮称）」に向けて

子どもを取巻く現状課題について

○核家族化等により、社会環境が大きく変化してきている中で、子育てに悩む保護者が増加しており、社会的な支援が必要となっている。

○地域における人間関係が希薄化している。

○少子化が進行する中、保育サービスの拡大や保育料の軽減など子育て支援策は充実してきており、保護者の子育てに関する利便性は向上している中で、健やかな子どもの成長に配慮する必要がある。

○育児放棄や虐待など両親等による人権侵害が発生している。

○いじめや不登校も依然として存在している。

○子どもに対する体罰も大きな社会問題となっている。

社会環境の変化とともに子どもの人権が侵害される事案が発生している中で、子どもの人権と尊厳を社会全体で確立することが重要であり、高山市の財産である子どもたちの人権を守ることを主眼として考える「子ども条例（仮称）」を制定することによって、社会全体で子どもの健全育成に取り組むことが必要と考えます。

分野別市民意見交換会からの課題

○生活基盤である、グループホームなどの整備が必要である。

○55人以下の法定雇用率が定められていない

○法定雇用率がある企業は優遇されるが、それ以外は何か利用しようとしてもできない。

○職場適応訓練費は1年間限りである。あとは企業の責任で雇用しなければならない。

○中小企業が安心して雇われるためには、地域の就業支援機関や就業支援ネットワークなど機関のきめ細かな支援が必要であるとともに、企業側の熱意や障がい者の特性を十分理解しサポートする体制の支援が重要である。

○企業における障がい者雇用の具体的な検討

○障がい者をサポートする体制の拡充。

②障がい者の就労及び生活支援について

障がい者雇用が進まない要因として

○経済状況が厳しい中で、障がい者を雇い入れる余裕がない。

○企業に障がい者雇用の経験がない為どうしてもいいかわからない不安要素がある。

○障がい者が働ける職域の開拓と企業と就業支援機関相互の情報交換が少ない。

○障がい者に対する体罰も大きな社会問題となっている。

○子どもに対する体罰も大きな社会問題となっている。

○障がい者に対する体罰も大きな社会問題となっている。

を促進するためには、活用できる支援制度に関する情報提供などが必要である。

雇用支援は、本人の希望と実態、取り巻く環境を把握し何を目標にするか、その目標を達成するためには、どのような努力をすればよいかを支援する（プランニング）必要がある。その上で、個人と事業所を結ぶ就業支援ネットワークのサポートが重要となる。

希望と実態、取り巻く環境を把握し何を目標にするか、その目標を達成するためには、どのような努力をすればよいかを支援する（プランニング）必要がある。その上で、個人と事業所を結ぶ就業支援ネットワークのサポートが重要となる。

希望と実態、取り巻く環境を把握し何を目標にするか、その目標を達成するためには、どのような努力をすればよいかを支援する（プランニング）必要がある。その上で、個人と事業所を結ぶ就業支援ネットワークのサポートが重要となる。

希望と実態、取り巻く環境を把握し何を目標にするか、その目標を達成するためには、どのような努力をすればよいかを支援する（プランニング）必要がある。その上で、個人と事業所を結ぶ就業支援ネットワークのサポートが重要となる。

希望と実態、取り巻く環境を把握し何を目標にするか、その目標を達成するためには、どのような努力をすればよいかを支援する（プランニング）必要がある。その上で、個人と事業所を結ぶ就業支援ネットワークのサポートが重要となる。

希望と実態、取り巻く環境を把握し何を目標にするか、その目標を達成するためには、どのような努力をすればよいかを支援する（プランニング）必要がある。その上で、個人と事業所を結ぶ就業支援ネットワークのサポートが重要となる。

希望と実態、取り巻く環境を把握し何を目標にするか、その目標を達成するためには、どのような努力をすればよいかを支援する（プランニング）必要がある。その上で、個人と事業所を結ぶ就業支援ネットワークのサポートが重要となる。

③委員会行政視察報告書

1. 視察先

社会福祉法人高山たんぼ福祉会

2. 視察の目的

平成25年度4月認可保育園への移行に関して、保育方針や建物など園児の環境を調査する。

3. 視察内容

・昭和54年2月1日、午後43日目から就学前までの保育園として開園。

・保育時間は午前

7時30分から午後6時までの長時間保育を実施。

・認可外保育所の運営は大変厳しく、毎年赤字に悩まされながら、保護者と共にバザーや物資販売などをしてきた。高山市の補助金も増額して頂き34年間続けることができ、平成25年4月より認可保育園として運営できるようになった。

・今後の耐震補強工事については、平成25年4月には、補強工事の準備を進め、25年度内には耐震補強工事を完了する予定である。

・今後の耐震補強工事については、平成25年4月には、補強工事の準備を進め、25年度内には耐震補強工事を完了する予定である。

・今後の耐震補強工事については、平成25年4月には、補強工事の準備を進め、25年度内には耐震補強工事を完了する予定である。

・今後の耐震補強工事については、平成25年4月には、補強工事の準備を進め、25年度内には耐震補強工事を完了する予定である。

・今後の耐震補強工事については、平成25年4月には、補強工事の準備を進め、25年度内には耐震補強工事を完了する予定である。

・今後の耐震補強工事については、平成25年4月には、補強工事の準備を進め、25年度内には耐震補強工事を完了する予定である。

・今後の耐震補強工事については、平成25年4月には、補強工事の準備を進め、25年度内には耐震補強工事を完了する予定である。

・今後の耐震補強工事については、平成25年4月には、補強工事の準備を進め、25年度内には耐震補強工事を完了する予定である。



たんぼ保育園